

夏休み



**RQ 市民災害
救援センター**

RQ子どもキャンプ

3.11後の最初の夏休みとなった今夏、避難所や仮設住宅、その他に避難生活を送っている子どもたち、親子の皆さんに、涼しい登米市東和町の山中での楽しい「RQ子どもキャンプ」を提供します。被災地児童と地元登米市の児童、それに他地区からの児童などの交流も視野に入れた友だち作りの楽しいキャンプです。

「被災後でもあり、できれば近くて安心できるキャンプがあれば」という声にこたえて、RQではボランティア現地本部のある東和町の住民の皆さんの全面的な協力をいただいて、鱒淵地区の美しい川と里で子どもキャンプを計画しました。どうぞ、ご応募ください。

- 主催：RQ 市民災害救援センター
- 共催：登米市東和町鱒淵地区
- 後援：登米市 登米市教育委員会
登米市社会福祉協議会(予定)



RQ子どもキャンプ

- 参加対象：小学校1～6年生 各回20名
- 日時：①8月1日(月)～3日(水)2泊3日
②8月11日(木)～13日(土)2泊3日
③8月17日(水)～21日(日)4泊5日
- 会場：登米市東和町鱒淵 ほたるの里交流館キャンプ場
- 参加費：**被災児童・地元児童／無料**
他地区児童／18,000円(2泊)、36,000円(4泊)
- 集合解散：RQ登米現地本部(登米市東和町鱒淵小学校)
※気仙沼市本吉、小泉、南三陸町歌津、志津川各地区に送迎車あり

RQ親子キャンプ

- 参加対象：年長～小3の親子15組
- 日時：①8月6日(土)～7日(日)1泊2日
②8月27日(土)～28日(日)1泊2日
- 会場：登米市東和町鱒淵 ほたるの里交流館キャンプ場
- 参加費：**親子2人2000円、3人3000円、4人4000円**
他地区：親子2人5000円、3人6000円、4人7000円
- 集合解散：RQ登米現地本部(登米市東和町鱒淵小学校)
※気仙沼市本吉、小泉、南三陸町歌津、志津川各地区に送迎車あり

キャンププログラム 東北の美しい自然と人の営みをキャンプを通して体感し、すべての生き物を慈しむ心、家族や仲間を思いやる心、自然に憧れる心を楽しいプログラムで育みます。●火を作る●焚き火を作る●食事を作る●川で遊ぶ●テントで寝る●自分の食器を作る●隠れ家を作る●吹き矢、弓を作る●歌を歌う●鶏の世話をする●村を探検する●ナイトハイク●野遊びをする



RQ子どもキャンプ2泊3日(例)

初日	午後：開校式・キャンプの話	野遊び・川遊び	夕食作り・ナイトハイク
2日目	鶏の世話・村中の探検	野遊び・川遊び	キャンプファイア
3日目	クラフト作り	野遊び・閉校式	

RQ子どもキャンプ4泊5日(例)

初日	午後：開校式	野遊び・川遊び	夕食作り	夜の語り部	
2日目	村中の探検	川遊び	隠れ家作り	夕食作り	焚き火作り
3日目	隠れが作り	野遊び	川遊び	夕食作り	ナイトハイク
4日目	鶏の世話	クラフト作り	川遊び	フリーチョイス	キャンプファイア
最終日	お土産作り	閉校式			

◆RQ市民災害救援センターとは 東日本大震災の救援・復興活動を支援するために全国の自然学校関係者や、環境教育や野外活動、地域づくりの実践者・研究者が「被災者の緊急支援と被災地の再生」を合言葉に集ったネットワークが、RQ市民災害救援センター(RQ=レスキュー)です。

自然学校やエコツーリズムによる地域支援の全国ネットワークである NPO法人日本エコツーリズムセンター(本部：東京都荒川区西日暮里 広瀬敏通代表理事)が中心となり、活動趣旨に賛同した全国の団体や市民有志により、3月13日、災害救援目的の任意団体として結成されました。岩手県釜石市、宮城県気仙沼市唐桑、小泉、南三陸町歌津、石巻市河北、福島県いわき市の7ヶ所にボランティアセンターなどの活動拠点を運営し、3月13日以来、7月8日現在、延べ13,150人のボランティアが全国から参集して民間らしい細やかで多彩な活動をしています。

■現地本部=宮城県登米市東和町 旧鱒淵小学校 ■東京本部=東京都荒川区西日暮里5-38-5 日本エコツーリズムセンター内

お申し込み：RQ 市民災害救援センター子どもキャンプ係り [現地本部]

090-1713-7061 rqtome@gmail.com

東京本部：03-5834-7977
rq@ecotourism-center.jp